



Weekly Report

第2219回例会 2018年4月25日 国際ロータリー第2580地区

武蔵村山RC
第46代クラブ会長
波多野 晃夫

2017~18年度RI会長 イアン H. S. ライズリー 2580地区ガバナー 青田 雅俊

東京武蔵村山RC テーマ

「共に学び、そして実践しよう」

本日の例会

炉 辺
次年度に向けて

2017~18年度RIテーマ



ロータリー:
変化をもたらす

次回の例会

全員クラブ協議会

【第2218回例会週報】2018年4月18日(水)

司会 比留間 重次 SAA会場運営委員

点 鐘 波多野 晃夫 会長

次年度 会長方針 倉内 淳 次年度会長

斉 唱

我等の生業
ソングリーダー
木内 敬三九 会員



出席報告

会 員 数	出席者数	出席 率	前々回出席率修正
36名	28名	94.12%	なし

○事前メーカーキャップ

金井 一三 会員 (地区研修協議会)
藤野 豊 会員 (G補佐研修)
田中 伸彦 会員 (分区連絡会)
比留間 一義 会員 (")

○出席免除会員

波多野 稔 会員
志々田 陽介 会員

会務報告 波多野 晃夫 会長

○地区研修協議会ホストクラブより礼状を頂きました。

○ハイライトよねやま vol.217を頂きました。

幹事報告 新海 正人 幹事

○報告はありませんでした。

2018~2019年度 クラブテーマ

『親睦・研修・実践』

基本に立ち返り、
素晴らしいロータリーライフを！

私が学んできたロータリーは慈善団体ではありません。
貧しい国や人の援助を目的とした単なる奉仕団体でもありません。
お金を集めて、寄付をすることが主目的の団体でもありません。
ロータリーの本質には素晴らしい魅力があります。
(これを説明するのは大変難しいことです)
それを会員の皆さんとともに学び、再発見したいと思います。

活動方針

『親睦』 例会と親睦事業の充実
例会出席が基本。他の会員との交流の中でたくさんの学びが得られます。
親睦事業に積極的に参加しましょう。

『研修』 研修リーダー、プログラム委員会を中心にロータリーの発生から現在までの歴史と変遷を学び、それぞれの会員がロータリーの本質を知り、自分のロータリー観をもっていただきたいと思ひます。

『実践』 各奉仕委員会活動に積極的に参加しましょう。
学んだことを日々の職業の中で実践しましょう。(職業奉仕)
各奉仕活動に参加して実践しましょう。(社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕)

『親睦』『研修』『実践』を通じロータリーの本質を学び、素晴らしいロータリーライフを発見し、体験しましょう！

2018-2019

地区研修協議会参加者報告(4/12開催)

会長・幹事部門

倉内 淳(次年度会長)

はじめに組織発表等が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。
当日はガバナーエレクトの松坂氏の講演があり、その中で次年度はガバナー補佐を、6名から13名に増加する。毎月各会員に送付しているガバナー月信は、メールでの送信に変更するとの発表がありました。
「研修と活性化」というテーマの発表から、新しい研修スタイルを組み入れ充実した研修としたい。また「RYLA(ライラ)」の立ち上げもあり、3年連続「研修」をテーマにしています。
会議の中ではRCは自己研鑽の場であるが、楽しくなければいけないという意見もありました。
本会議では総括として各委員会より発表がありました。

クラブ奉仕

嶋田 哲男(次年度副会長)

研修はディスカッション中心に、実施されました。
その中で「マイロータリー」の登録と地区のFacebookの有効活用を各クラブにお願いしたいと依頼がありました。
次年度からは、他のクラブの奉仕活動の紹介・事例発表などを実施しますので、これらを参考に各クラブ研修を充実させてください。
次年度倉内会長を全力で支えていきます。

職業奉仕

佐藤 貢(次年度理事)

東京後楽RCの会員の卓話を聞いて研修を実施しました。
研修で参考にした冊子をご紹介します。
「脚下照顧」(きゃっかしょうご) 佐藤 千尋 著
脚下照顧の内容は、職業を通して他人に奉仕することから始まる 自分の脚もとから照らすという意味です。

国際奉仕

酒寄 好夫(田中 伸彦 次年度理事代理)

次年度の世界大会の詳細が決定しました。
2019年6月1日(土)
ドイツ ハンブルクで開催します。
参加をお願いします。
先日の日台友好については、日本からの参加者が650人、台湾の参加者は400人。
大勢の参加に感謝申し上げます。
当日は海外との友好クラブを各クラブ積極的に検討してください。
沖縄県のクラブは台湾のクラブと積極的に親睦を図っているようです。

青少年奉仕

内野 均(次年度理事)

当日は研修に力を入れて欲しいとの依頼がありました。中高年世代の奉仕活動「インターアクト」。20歳以上の社会人中心の「地区ローターアクト」。「地区交換留学生」。「RYLA(ライラ)」。「地区ライラの設置に伴い、参加する若者が成長できるよう各クラブ対応をお願いしたいとの依頼がありました。

ロータリー財団

野島 征(次年度委員長)

当日の研修は6テーブルに分かれて意見交換を実施しました。当クラブの目標は100ドルを目標にしましたが、クラブ平均は現在160ドルです。今回の研修の中で他クラブの取組みを参考にすると、次年度に向けての準備は、12月から活動しないと間に合わないと思います。
次年度は当クラブより、ガバナー補佐・分区幹事を輩出しますので、250ドルを目標にお願いします。

米山奨学

新海 正人(次年度委員長)

カウンセラーとしての役目について、2時間の会議と米山学友の卓話及び、地区米山奨学委員会 比留間孝司委員長と、米山学友との卓話の3部制で開催されました。
3月現在の当クラブ寄付金額が平均8,771円。全国平均額16,000円です。
7月に寄付をお願いしますので、ご協力願います。

米山奨学委員会 委員長

比留間 孝司

寄付についてご説明します。
7月と1月に締める普通寄付と、タイムリーに実施する特別寄付があります。ご協力をお願いします。
先日の研修は、充実したものであり、素晴しかったです。

地区RYLA(ライラ)委員会 委員

木内 敬三九

当日の研修のほか、既に早くからスタートしています。神戸の全国大会にも参加させて頂きました。
今後の日程とRYLAについてご説明します。
スタートアップRYLA
2019年3/1(金)~3/3(日)沖縄県

RYLA(ライラ)

若い人々の中にある指導者としての資質を啓発すると共に、青少年指導者としての知識と技術の向上を目的とするプログラムです。



ニコニコBOX

今回ニコニコはありませんでした。

今回計 0円 累計 1,051,000円